

木育から考える私たちの暮らし

一般社団法人 絆奏舎

〒425-0026 静岡県焼津市焼津 3 丁目 6 の 3

助成事業の概要

今回、人と自然が共存できる社会を目指し、「木育から考える私たちの暮らし」をテーマに以下の講座を開催した。

- ・ 令和 7 年 9 月 熊本大学教育学部田口教授を招き、木育推進員講座初級、中級を開催。〈概ね 1 講座 6 時間〉初級講座、中級講座を開催。熊本大学から級毎に修了証が発行された。一般市民が、気軽に参加できる活動として、木に親しみ、木の良さ森の大切さを伝え、木育を推進できる地域のリーダーを育成。講座の内容は、 1. 知る。木のことについて学ぶ。 2. 触れる。触ってみる。実験・観察など。
- ・ 3. 創る。木を使ったもの作り。初級では、ターナーやスピーカー作り。中級では、木琴作りなど・・・座学と実技を組み入れた講座となり樹種の特性を学んだ。
- ・ 令和 7 年 9 月 児童館にて間伐材を使った笛作り講座を開催 防災時の活用も含めての講座となった。
- ・ 令和 8 年 3 月 市内の放課後児童クラブにて間伐材を使った笛作りを開催 前回の講座を踏まえ、様々な樹種の学びも取り入れた。

事業の成果

これらの学びを通して、木と暮らしと森について考える機会となり、私たちの暮らしを守り支え、暮らしを豊かにする森林に感謝し、その役割の継続を私たち人間がどう対応していくかを考え、行

動・実践していく木育推進員の活動が意義のあるものと感じられた。

講座の中で、木材の性質、樹種の役割や効能や伝統の技や木組みなど神社仏閣、住宅の建築に至るまでの違いを楽しく、解かり易い学びとなった。

土砂崩れや地球温暖化の緩和は、国や行政だけが考 えることなくそこに住む人みんなで暮らしやすい環境を作るという意思を持つことができた。

「一人はみんなのために、みんなは一人のために…そしてそれが未来につながる」ことを信じて限らない成果に繋がることを参加者全員で感じることができた。

木育推進員が増えていくことによって、地域や保育園、幼稚園、学校などで木育講座を開催し、自然環境に目を向ける機会を増やしていくことの大切さを共有できた。それにより現代人の問題としての原体験不足を、木育推進員の活動で遊びや創作の中から興味関心を喚起することができ、ものづくりは、豊かな社会づくりへの体験の入り口。

木材に触れることは、文化・歴史・社会に触れること。現状を知り、確かさを知り、協働の必要性を知ることにつながることを知った。

木育推進員は、活動を通じて様々な人たちに学びや気づきを与えていく存在になっていくことなど田口教授の講義によって深く学び、参加者全員の共感を得た。

そして活動の共感者を増やし、活動の輪を広げ市民活動として協働の一端となることを共有できた。

多世代が年長者からのアドバイスや古き良き時代を想像することができ、共に学ぶ場となった。年長者としては、生きがいやりの場として学びの場の提供について喜ばれた。

また、異年齢の講座開催を考え、子どもたち同士で教え合ったり助け合ったりする縦のつながりの大切さも学び、今後拡大していきたい活動となった。

成果の広報・公表

木育推進員が増えていくことによって、地域や保育園、幼稚園、学校などで木育講座を開催し、自然環境に目を向ける機会が増える。現代人の問題としての原体験不足を、木育推進員の活動で遊びや創作の中から興味関心を喚起することができる。ものづくりは、豊かな社会づくりへの体験の入り口。木材に触れることは、文化・歴史・社会に触れること。現状を知り、確かさを知り、協働の必要性を知り、郷土愛に繋がる。木育推進員は、活動を通じて様々な人たちに学びや気づきを与えていく存在になります。そして活動の共感者を増やし、活動の輪を広げ市民活動として協働の一端を担う役割であるということを関係機関に啓蒙していく。

講座の終わりに感想を聞きあい、感じたこと学んだ気づきのシェアし、アンケートを取った。

法人としては、次回開催にむけニーズの把握ができた。法人のインスタグラムにて活動の様子を紹介したり、参加者の方も友人に感想を伝えたり広報していただけた。

また、法人総会時に事業報告として各機関に報告する予定です。

今後の展開

木育推進委員は、「森林の働きと私たちの暮ら

し」「森林の育成・保全」「森林と木材の循環」「暮らしに活かされる木材の特性」「木材利用を支える技術」「県内の木造建築物」など更に学びを深め、これらの学びを通して、今まで気づかなかった環境、自分の住む街に目を向けていく。

活動としては、地域、幼稚園や学校などで、木や森のお話や木のおもちゃで遊んだり、木を素材にしたもの作り教室を開催したり、実際の木育推進プログラム作りなど実践に即した講座内容など環境活動をされている団体と協働できることを模索していく。実際に地元で活動している事例などの紹介や交流する機会の提供等スキルアップ講座の開催を企画していく。

また、今回開催したそれぞれの講座をブラッシュアップし、ものづくりの楽しさや大切さを伝えていく。

児童クラブでの木の笛作りは、子どもたちからも好評を得て、防災意識に繋げていくなど今後他のクラブにも広報し事業拡大に活かしていきます。